

社会法学（浅倉）

1 案

契約の自由や私的所有権の絶対という「市民法の原理」を修正する意味をもって登場した社会法学を学ぶことによって、労使間の権利・義務を根拠づけるさまざまなルールを知り、現実社会で生活する人々の生存や尊厳の保障のあり方を考え、国が国民経済に干渉する根拠となる各種の法の仕組みについて、理解を深めることができる。

2 案

労働法、社会保障法、経済法、消費者法などを学ぶことによって、労使間の権利・義務を根拠づけるさまざまなルールを知り、現実社会で生活する人々の生存や尊厳の保障のあり方を考え、国が国民経済に干渉する根拠となる各種の法の仕組みについて、理解を深めることができる。